



第252号

令和6年9月10日号

社会福祉法人 一誠福祉会

〒441-8066 豊橋市王ヶ崎町字上原1番地145
TEL (0532) 48-5115 ・ FAX (0532) 48-7811



地震体験車「なまず号」体感後に記念撮影 令和6年7月17日 於 特別養護老人ホーム 麗楽荘

目 次

- 講話 福沢諭吉とパワーハラスメント 2
- アイエス社労士事務所 所長 伊藤 悟 3
- 防災 備えよ常に…… 3
- (一) 一誠福祉会 総務部長 青山 勉 4
- 地域交流 …… 4
- 作業在納涼祭を行って 柵木 祐紀 5
- 特別養護老人ホーム作業在管理士 副主任 大林 藍 6
- 笑顔が少しでも戻ればイイネ デイサービス作業在 介護士 副主任 柳川 隆誌 7
- 研修 キヤリアパス研修 内部研修を受講して6 老人保健施設ヘルシーハイツ 相談員 副主任 柳川 隆誌 7
- 活動報告 BCCP委員会の役割とは 7
- 感染症BCPP委員長 看護師 主任 桑山 恵利 7
- 防災BCPP委員長 介護士 副主任 桑山 恵利 7
- オリエンティック作業在 …… 8
- デイサービス作業在 …… 8
- 思い出の名場面伺いました！ 作業在編集委員 全力疾走聖火リレー利用者 谷口 大輔さん 9
- 老健ヘルヴェーハイツ 入所者 柴田 好二さん 9
- 趣味披露 二年目の本宮山登山 …… 10
- デイサービスセンター作業在 介護士 金田 智 10
- 施設だより …… 11
- 作業在 …… 18
- 業務効率化への努力 介護士 主任 山本 丈人 18
- 美光ハイム 夏音楽鑑賞会 介護士 菅沼 昌子 18
- 倶楽部 誕生日のケーキ作り 介護士 井之上めぐみ 18
- お誕生日のケーキ作り 介護士 井之上めぐみ 18
- GHK555 七夕会 季節の行事 介護士 土田 真恵 18
- ス楽荘 生産性向上に向けて 介護士 嶋 章政 18
- ベルヴェーハイツ リハビリで笑顔に 理学療法士 榊原 茎太 18
- ベルヴェーハイツ テイクアウト 歩くが見える 介護士 主任 安藤 裕司 18
- DSC吉かわ 恒例の流しぞつめん 介護士 出戸 菊栄 18
- 麗楽荘 口腔衛生士の卵 介護士 峯野 愛香 18
- 和光ハイム ビアゴへ買い物に 事務員 桑山 真理 18
- GHK555 地元の特産物を求めて 介護士 伊藤 絢美 18
- 奇楽荘 コロナ荘内感染 看護師 副主任 瀬野尾 紀子 18
- GHK555 土用の丑の日 介護士 酒向 美貴 18

講 話

福沢諭吉とパワーハラスメント

アイエス社労士事務所 所長 伊 藤 悟

昨今、どこかの知事がパワーハラを行ったとか多くの企業でパワーハラ防止措置を講じなければならぬとか話題となっておりません。私は労務管理の専門として、こうした研修等にも駆り出されることがあるのですが、パワーハラにならない、上手い指導を行った歴史上の人物をご紹介します。

明治の初めに登場した人物です。日本は当時、激動の時代でした。内務省衛生局に勤めていた北里柴三郎は、「一日自分の仕事、勉強を怠れば、一日国家の進歩が遅れる」と考え、ドイツのベルリン大学に留学をしました。

破傷風菌の純粹培養にわずか四年で成功したのです。大変優秀であったため、周囲からヘッドハンティングがりましたが、日本の医学のためにと考えお金にも目をくれず、帰国の道を選びました。しかし柴三郎を待っていたのは厳しい現実でした。一説には母校東大医学部との軋轢があったと言われていますが、衛生局に戻れず失職の憂き目になったのです。その窮状を救ったのが福沢諭吉です。諭吉は柴三郎の高潔な人柄や崇高な志に胸を強く打たれ、芝公園内の所有地に私財を投じて伝染病研究所を建設した

のです。ここで柴三郎は研究を続けることになりました。研究所の中の養生園では患者のために牛を飼い搾乳していたので、感謝の意を込めて柴三郎は福沢邸へ牛乳を届けさせていました。ところがある日事件が起きます。牛乳瓶にわずかな汚れを見つけた諭吉は、秘書の田端に次のような手紙を認めました。「この瓶の汚れが、あなたが運営している養生園のすべてを物語っている。患者に出す食事はいい加減で、園内の薬局は怠慢、医師の診察は不親切なのだろう。あなたたちは有頂天になっている。初心を忘れたのか。偉業を志す者は一生必死に努力してもようやくその半分しか達成できな

きないもの。なのに何たることであるか……。」のような内容で。これを読んだ柴三郎は仰天し、ただちに諭吉のもとに向いて平謝りに謝りました。そして、この一メートル半にも及ぶ書簡を所長室に掲げて自戒したとのことでした。諭吉は、(当時こんな言葉はありませんが)相手の成長を願い、しかし、戒めるべきことは言うべき、という対応をしたのです。パワーハラにならない適切な指導を見事に行いました。

時は流れ現在、諭吉はお札から引退し、新しいお札に柴三郎が登場したのも二人の縁が深いからでありましょう。きっと今頃天国で和気あいあいと語り合っているのではないのでしょうか。

防災

備えよ常に！

(福)一誠福祉会 総務部長 青山 勉

8月8日、宮崎県の日向灘を震源とするマグニチュード7.1の地震で、気象庁は南海トラフ地震が想定される震源域では大規模な地震が発生する可能性が普段と比べ高まっているとして、19時15分に、「南海トラフ地震臨時情報」(巨大地震注意)を初めて発表した。気象庁は15日までの1週間、注意呼びかけを継続し、結局、そのような事象は起きず、1週間で解除となった。

ふたと、水を買わなければとドラッグストアへ走るも、なんと水は売り切れ。同人種が何人もいた。この発表は地震予知ではなく、1週間は気を付けて、現況を確認し、準備してくださいとの注意喚起であるのに、私の行動は1番に被災するタイプ、反省せねば。個人・家族が被災すると、施設に応援へ行けなくなる訳である。職員は平日頃から、自分の家の防災について家族や地域と話し合っただけで、震災時にはまず家族の安全を確保したうえで行動する意識をもつことが大切である。

次の日、法人本部の対応として、理事長名で各施設・事業所に点検確認を通知し、注意喚起をした。点検結果は、非常食の備蓄・防災備品の整備・緊急連絡体制の確認については、ほぼ準備・整備されていた。職員間の共通認識も図られた。しかし、平成7年1月の早朝に起こった阪神大震災では、行政職員も多く被災し、2割しか職員を動員できなかった事実もあり、夜間や早朝で起こった場合、応援は見込めず、初期対応は、夜勤・早番職員、厨房職員、ケアハウス入居者しかあてに出来ないことも再認識しなくてはいけない。少しでも多くの職員の応援は必要不可欠。

地震も心配であるが、地球温暖化によるものか、気温の上昇により異常気象の発生が多くなり、大型の台風による風害・洪水、線状降水帯・ゲリラ豪雨による浸水の発生など予測がつかない自然災害にも備えていかなければいけない時代に突入した。ちょうど9月は防災週間である。今一度、各自考える良い機会である。

備えよ常に！

警戒レベルと防災気象情報 知る防災

警戒レベル	とるべき行動	危険度分布	気象庁等の情報
5	命の危険 直ちに安全確保	災害切迫	氾濫発生情報 大雨特別警報
4	危険な場所から 全員避難	危険	土砂災害警戒情報 氾濫危険情報 高潮特別警報 高潮警報
3	危険な場所から 高齢者等は避難	警戒	大雨警報(土砂災害) 土砂災害警戒 高潮警報 高潮特別警報 高潮注意警報(土砂災害等)
2	避難行動を確認	注意	大雨注意警報 大雨注意警報 高潮注意警報 高潮注意警報
1	災害への心構え	早期注意情報(情報提供の可能性がある)	

気象用語もしっかり理解

地域交流

作楽荘納涼祭を行って

特別養護老人ホーム作楽荘 管理栄養士 副主任 柵 木 祐 紀

八月三日に地域の皆様をお呼びして作楽荘納涼祭を行いました。今年の納涼祭はボランティアの方々もお呼びし、櫓を立てて盆踊りを行い、模擬店も出店しました。踊りは山吹里の会とひまわりの会の皆様、太鼓演奏は吉川太鼓鼓流の皆様に来ていただきました。地域の皆様をお呼びして行う納涼祭は約五年ぶりです。盆踊りの曲目は炭坑節・豊橋音頭・新豊橋とんとん唄の三曲です。素晴らしい太鼓の演奏と踊りに合わせて利用者の皆様も一緒に踊り、とても楽しまれました。



昔はよく踊ったよ

模擬店のかき氷・ジュース・わたあめ・そうめん等、夏祭りの屋台をイメージしたお店を出店しました。隠し味にごま油を入れたそうめんは美味しいと好評で、かき氷・わたあめは利用者様にはもちろん、来場されたお

子様にも大好評でした。



暑い日はかき氷が一番

午後七時頃から、来場された皆様全員でビンゴ大会も行いました。景品はぬいぐるみや花火・キヤラクター物のブランケットやハンディ扇風機等、様々な景品を準備し、ビンゴが始まる前に景品を見たお子様からは「すごい!」「欲しい!」という声が上がっていました。ビンゴ大会も盛り上り、

無事に納涼祭を終える事が出来ました。

今年度の行事委員長として企画立案や準備に関わり、反省点も多々ありましたが利用者様やご来場された皆様が楽しそうに過ごされていて良かったです。今後も行事を通して地域の皆様と交流を深めていきたいです。



懐かしい味だね

笑顔が少しでも戻ればイイネ

デイサービス作楽荘 介護士副主任 大 林 藍

五年ぶりにボランティアの方々をお招きし、和太鼓の演奏や盆踊りなど、コロナウイルス感染前のような納涼祭を行うことが出来ました。

また地域交流の名目でご近所の方々をお呼びしました。日頃の感謝を込めさせて頂き、ジュースやかき氷、そうめんなど、夏の涼を感じる品目を提供させて頂きました。

年間行事も小規模体制にすることがもはや定番化してしまつた昨今、本来の行事の在り方を長年いる職員も忘れてきた頃に、再び以前のような取り組みを行いました。少

し戸惑いはしましたが、皆さんの笑顔でやっと本来の姿が戻ってきたと確信しました。しかし、まだまだコロナウイルスの感染は侮れず、来荘者の方にはマスクの着用や手指消毒の協力をお願いするなど徹底しました。

普段外出の機会が少なく、小規模になつた行事の参加程度しか行えなかつた特養の入所者様や美



太鼓が夜空に響きます



サノヨイヨイ♪

光ハイムの入居者様には笑顔が溢れ、夏の暑さを涼の食べ物で吹き飛ばすような楽しみ方をされたり、職員付き添いのもと、盆踊りにも積極的に参加されたりと夏の行事を存分に堪能していただけたことと思えます。

開催した職員はと言うと、役割分担の仕事の間にジュースやかき氷を食べたり、利用者様と一緒に回ったりと職員の表情にも笑顔が見られ、少し

だけ窮屈だった行事から解放されたような、そんな表情にも見えました。最後にはビンゴ大会を行い、子供たちの「ビンゴー」という大きな声が夏の夜空に響き、嬉しそうに景品を手取る姿も印象的でした。

世の中の感染状況を踏まえながらではあるものの、今後もまだまだボランティアの方を募る年間行事が予定されているので、外部の皆様をお招きしながら、盛大に行事を企画していきたいと思えます。皆様にとってこの納涼祭が素敵な夏の思い出になれば幸いです。



研 修

キャリアパス研修(内部研修)を受講して

老人保健施設ベルヴューハイツ 相談員副主任 榊 原 隆 誌

七月十七日、特養作楽荘にて、第一回目「人間関係を変えるコミュニケーション」をテーマとした研修会を受講した内容・感想について報告します。

日常業務の中で各部署の職員や役職者に接する機会が多くあり、またご家族と直接話す場面も多々あることから、コミュニケーション能力の大切さを自分なりに理解しているつもりでした。しかし、チームをまとめるためのリーダーとしての必要な能力については、あまり気にしたことがありませんでした。

チームにおいてリーダーはプレイヤーであり、

マネージャー・コーチと求められる役割が多く、体力・精神力が追いつめられる印象があります。しかし、役割ごとの比重を自信で振り分け、役割をチーム全体で共有し、連携できるように取り組めば負担が減り、効率も上がってきます。そこで「任せる」「教える」「伝える」「連携をはかる」ためには根拠を持った接し方が必要、つまりコミュニケーションスキルアップが不可欠です。

スキルアップのひとつとして、今回の研修では「聴く」能力と方法について主要な時間が割かれていました。単に耳で聞

くだけでなく、「思考」「価値観」を尊重した聴き方が必要となります。上手く聴き取ることで信頼を得れば、チームに必要な連携が滞りなく進めていきます。

現職種の相談員は二人なのでチームというよりコンビです。しかし、介護・看護の現場職員や事務、さらには外部機関とも調整を図りますので、チームの範囲はとても広いといえます。全体の調整としての自覚を持ち、「聴く」能力を修練させ、施設全体のチーム力向上に貢献したいと思えます。同時に他事業所・機関のご利用者親族などからの信頼をより強固なものにするよう訓練も行っていきたいと思えます。

研修概要

部下との信頼を築き、育成や離職防止・ハラスメント防止に役立つための研修を企画。対象者は役職者も含め中間管理職以上(対象六十四名)、期間は七月、九月、月二回実施。

三つにテーマ分け
一、「傾聴力」は信頼づくりの第一歩

二、人材育成に効く! 「承認」のスキル

三、「質問」の威力! 相手のやる気や能力を引き出す

講師紹介

「人を育てる」専門家
人材育成のIKU+
代表 手嶋史枝 先生



研修風景 於 麗楽荘

活動報告

BCP委員会の役割とは

感染症BCP委員長 看護師主任 柳川 政恵
 防災BCP委員長 介護士副主任 桑山 恵利

2024年度からBCP(事業継続計画)実地訓練が義務化されました。自然災害、感染症の区別なく、研修と訓練を各々2回以上行なう必要があります。麗楽荘では7月17日と24日の2日間、訓練を行ないました。

まず17日に行なった防災の報告から参ります。日本各地で大規模地震が発生している昨今、より一層の備えと改めて防災意識を高める機会を得ようと、新城市防災対策課に依頼をし、地震体験車「なまず号」をお借りすることができました。当日は午前中に強い通り雨が降り、「なまず号」は

雨にとっても弱く、小雨程度でも使用できない事を事前

に聞かされていた為、祈るような気持ちで迎えた午後1時30分、「なまず号」が到着。写真で見ただけでなく、その大きさに驚きました(表紙写真)。天候は日差しが肌に突き刺さるような炎天下になりました。

防災対策課橋本様他2名の方が来荘。試運転が始まると、凄まじい音と揺れの迫力で、実際に大震災を経験した人の事を思い涙する職員もいました。そして今度は実際に体験です。見た目以上の縦揺れと横揺れに、立っている事は出来ず、固定された机にしがみつ

のがやっとでした。さらに「東日本大震災」「阪神淡路大震災」「熊本地震」など当時の揺れの再現が可能で、「地震の違い」を経験することも出来ました。

職員のみならず、和光ハイクムの入居者様や今回は地域住民にも声をかけており「サマリヤの丘」の職員さんも体験。最後は時間の許す限り、何度も体験した人がいたほどです。

今回の経験で地震の恐ろしさを肌で感じることで、また施設職員として大地震が来たらどのような対応を取ったら良いのかを考える良い機会となりました。30年以内に70%以上の確率で発生するといわれる「南海トラフ地震」。柔軟に対応することは不可能ですが、今回の経験を糧に防

災意識を高めていきたいと思われました。

続いて感染症ではコロナ設定訓練を実施しました。

各部署がまず、何を行うべきか検討し、どう行動するのか再度確認する事が目的でした。限られた職員で感染経路や接触者の確認、部屋割りの変更、体調チェックなどやるべきことは多々あり、手順良く行う為には指示役が重要で、今回は介護職と事務職が連携・協力し、必要な感染症の備品を計算、隔離期間の備品をおおよそ準備しました。誰もが発生時には混乱することなく準備・対処できるよう訓練を繰り返し行なっていく予定です。「Be prepared 備えよ常に！」

オリンピック特集

デイサービス作楽荘

思い出の名場面

伺いました!

作楽荘編集委員

まだまだ暑い日が続きますが、皆様どのようなお過ごしでしょうか。

7月27日から8月11日にかけて、2024年パリオリンピック大会が行われました。日本代表選手達がメダルを目指して真剣勝負をして、日本中の方たちが寝不足になりながら、応援して興奮した期間でした。様々な感動と思い出をありがとうございます。

さて、今回は作楽荘の利用者様にパリオリンピックを含めた、「思い出に残っているオリンピック」について伺ってみました。

〈利用者Tさん〉

1964年の東京大会において、女子バレーボール競技の金メダルが印象的だったとの事でした。Tさん曰く、圧倒的な強さだったそうです。相手にどれだけ攻められても、ボールを床に落とさない可憐な動きと粘りに感動したとの事でした。少し補足しますと「東洋の魔女」と呼ばれ、大日本紡績の貝塚工場の女子バレーボールチームメンバーが中心となった日本代表チーム。旧ソ連との優勝決定戦では、なんと視聴率が脅威の66・8%との事でした。

〈利用者Yさん〉

1992年のバルセロナ大会の男子マラソンで活躍した谷口浩美さんのレースが思い出に残っているとの事でした。少し補足しますと、レース22・5キロ地点の給水所にて後続の選手に左かかとを踏まれて転倒。脱げた靴を履きなおして再スタートして、最後まで力走したが、結果は8位でメダルとはなりませんでした。Yさん曰く、あの名セリフ「こけちゃいました」の笑顔で答えていたシーンが思い出に残っているとの事でした。接触した選手を悪く言わなかったそのスポーツマンシップに感動。大変素晴らしい話でした。

〈利用者Sさん〉

比較的新しい、2018年の冬季平壤大会での女子カーリングとの事でした。目標となる中心をめがけてストーンを滑らせ、相手より中心に近いストーンの数で得点が決まる競技。Sさん曰く、簡単そうに見えて実は奥深く、つつい見入ってしまったとの事でした。

今回は3名の利用者様に話を伺いましたが、皆さん話をされている時に熱がこもっている様に感じました。今回は2028年ロサンゼルス大会。また日本中が興奮と感動で盛り上がる事、そしてまた皆さんに話を伺える事を楽しみにして終わりたいと思います。ご協力ありがとうございました。



ベルグユーハイツテイケア 全力疾走聖火リレー

利用者 谷口 大輔さん

1964年東京オリンピック。私が高校二年生の時、聖火ランナーを経験しました。

県知事から私の通う高校に依頼があり、学校周辺を2・5キロメートル走るといふもので、私を含めた生徒4名が選ばれました。

私以外の生徒は走りの得意な陸上部員でしたが、強豪だったバレー部に所属し、全国大会にも出場するなど一生懸命運動に励んでいたため、私もランナーに選んでいただけたのではないかと考えています。

練習時、大会係の方が

ら、「ゆっくり走ればいいよ」と言われていたものの、いざ本番になると進行に遅れが発生。待機中に「予定よりも五分程押している」と伝えられ、我々生徒の中で第一走者だった私は、トーチが渡された瞬間から必死の思いで走りました。

予定外の全力疾走での聖火リレーとなりましたが、走者の記念として東京五輪のエンブレムのついた衣装や靴、記念のバツジをいただけ、思い出に深く刻まれる貴重な経験をしました。



記念バッジ

老健ベルグユーハイツ 聖火トーチ

入所者 柴田 好二さん

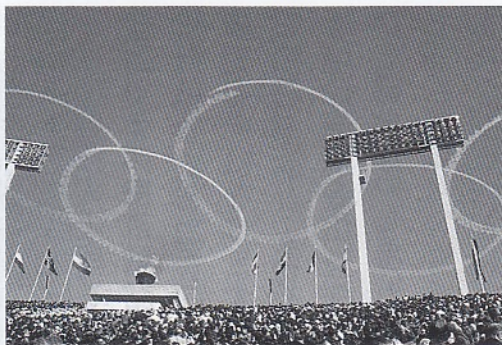
今でも時々思い出すのは、1964年に開催された東京オリンピックで、聖火ランナーと一緒に走った思い出です。

東京オリンピック開催時、私の住んでいた地域が聖火リレーの走路に含まれておりました。当時、走路の地域に住む人は聖火ランナーと並走することができたため、私も参加し、聖火ランナーの疑似体験をすることができました。

聖火ランナーの方に記念としてトーチを持たせていただきましたが、想像していたよりも重く、ずっしりとした重量感に

驚いたことをよく覚えています。

聖火ランナーと一緒に走った人々へ、記念品として市からバツジをいただきました。記念バツジの入った桐の箱の中には、そんな思い出も大切にしまっておりま



ブルーインパルスによる五輪マーク



趣味披露

二年目の本宮山登山

ディサービスセンター作楽荘 介護士 金 田 智

本宮山登山を始めて二年が過ぎようとしていきます。筋金入りの三日坊主の私がこんなに登山出来ているのは、様々な出来事があるからです。その中で印象に残った出来事をいくつか紹介したいと思います。

一つ目は、私が疲れ果てて登っていると、後方から「ザツザツ」という足音が聞こえてきたので振り返ると、陸上自衛隊の集団が迫っていました。その時は、疲れは何処かへ行ってしまい恐怖感へと変わっていました。

また、鬼滅の刃のコスプレのグループに三度も

出会いました。先頭で登っていた方は、大きな葛籠を背負っていたので「何が入っているのですか？」とすれ違いざまに聞くと、「思いつ」と冗談がかえってきましたし、裸足で登山をしている方達にも出会いました。以前に猿投山に登った時も裸足で登っている方達を見かけたことがあったので、その事を話すと「多分それは私達だと思います。」という返事でした。

山頂付近には、砥鹿神社奥宮があり、そこには富士山が拝見できる場所があります。冬季には、くつきり拝見できるので、登りがいがあり、楽しみの一つとなつていますし、野生の動物にも出会えるのでちょっとしたミニ動物園のような感じですが、「ガサツ」という音がした方向を向くと、そこには、鹿や猿そしてリスのような動物に出会える事もあります。あまり歓迎できない蛇にも出くわした事もあり、男なのに「キヤー」と言う悲鳴を上げてしまい恥ずかしい思いをした事もあります。

気のせいかもしれませんが、二年前より足は細くなつた気がしますし脚力も付いたと思います。登り始めは、また辛い思いをするのかと登山口を見ると嫌な気持ちになるのに、悪天候等で登れない日が続くと、何か落ち

着かないという、何とももどかしい変な精神状態になります。もっとおかしな事は、本宮山を下した直後に鳳来寺山にも登りに行っています。約一三〇〇段の階段を登る登山です。携帯電話の万歩計はいつも二五〇〇〇歩くらいになります。もし機会がありましたら、今度は鳳来寺山登山について書きたいと思います。



施設だより

作業荘

○業務効率化への努力

介護士主任 山本 丈人

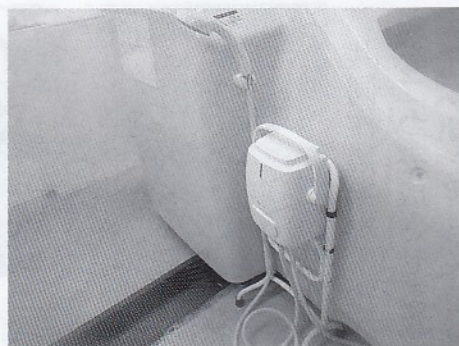
令和六年度の介護報酬改定において、「現場における課題を抽出及び分析した上で、事業所の状況に応じて、利用者の安全並びに介護サービスの質の確保及び職員の負担軽減に資する方策を検討するための委員会」すなわち生産性向上委員会の設置を義務付けられました。

そのため、作業荘でも今年度から生産性向上委員会を立ち上げ、その一環として、八月二十二日より入浴時の洗体に「泡シャワーKINUAMI」と日常の介護業務に「介

護専用アシストスーツ「エイパスフレアリー」を約二週間程度お試し用に業者よりお借りし、検証しています。

泡シャワーに関してはレバー操作一つで温かい泡をシャワーから出すことができ、さらに細かい泡で入所者様の全身を二十秒程で包みこむことができます。こすり洗いが不要で、なで洗いだけで良いのもメリットの一つです。現状、タオルで泡立てていたので時間がかかっていきますので、この泡シャワーを使用すれば、その時間を短縮することができ、業務時間削減に繋がるのではないかと思います。

介護スーツに関しては、この介護スーツを着用す



泡シャワー

ればセンサーが姿勢を検知し、モーターの力で腰をサポートします。オムツ交換やシート交換での中腰作業、移乗での腰部への負担軽減ができません。確かに腰への負担は若干軽減されましたが、スーツの裏側にバッテリーがあり、しゃがんだりすると窮屈であるとの感想も報告され、まだまだ検証していく必要があります。

人手不足が取り沙汰される介護業界、当施設でも同様に厳しい人員配置での業務になっておりますが、このような「働く人をサポート」する機械などを導入していけば、時間短縮など業務が改善され、多少なりともそのような問題が解決されると思います。中々机上のようには行きません。しかし少しでも働く環境が良くなり、高齢者の介護に少しでもプラスになればと、試行錯誤して前進していきたいです。



介護スーツ

美光ハイム

○夏の音楽鑑賞会

介護士 菅沼 昌子

年間行事の一つに「音楽鑑賞会」があります。今回はボランティアの空野様にピアノ演奏をお願いしました。美光ハイムでの演奏は初めてで、多くの入居者の方が楽しみにされています。

「青い山脈」等、若い頃に口ずさんでいた曲を何曲か演奏いただき、また「ドレミの歌」では元気一杯、演奏に合わせて皆さん歌われていました。曲の合間にもう一人のボランティアである平山様がハーモニカの演奏をしてくださり、その演奏は大変心に沁みる力強いものでした。

手遊びでは「幸せなら手をたたこう」の曲に合わせてすることが出来ず大笑い。「音楽鑑賞会」と言うよりも「みんなで音楽を楽しみましょう会」となり、あつという間の一時間でした。



どの曲にしようかな

楽しく笑って歌った後は、お待ちかねのティータイムです。紅茶とケーキを召し上がり、「今日は楽しいことが二つあったね」と大変ご満悦でした。

倶楽荘

○お誕生日のケーキ作り

介護士 井之上めぐみ

四月に特養へ異動となつてから初めて誕生日会を担当いたしました。

今回は主役のお二人と誕生日ケーキ作り。生クリームを塗ったり、絞ったり、途中で味見？をして（つまみ食い？）……



スポンジを慎重にのせ

共同作業でホールケーキを二つ完成させる事が出来ました。出来上がっ

たケーキをテーブルに並べ、まずはローソクの火を消していただく手筈ですが、なかなか消えないハプニング。その後ケーキを皆さんで食べ始めると主役の方が「美味しいねえ」と一番に声が上がりました。それを聞けて、今回の誕生日会は成功したかなとホッとしました。今後とも感染症に気を付けながら入居者様が楽しいひと時が過ごせるような企画を考えていきたいと思えます。



誕生日ケーキ出来上がり

GHくらら

○七夕会・季節の行事

介護士 土田 真恵

今年も昨年以上に暑い日々が続いて、入居者様も外に出ることが出来ず、室内で過ごすことがほとんどです。室内で楽しく過ごしていただくためのイベント、私はとても大事だと思っています。

夏のイベントといえば七夕。室内に大きな笹が届きました。個々に短冊に願い事を書いていただき、「おいしいものを食べたい」「甘いものを食べたい」と食べ物のことを書く方や、「彼女が欲しい」と書いている方もいらっしやいました。まだまだお若い（笑）

GHくららで最高齢の



沢山お願いをしようかね

方は九十八歳。一生懸命短冊に願いを書き、名前も書いて、笹の前にお連れすると自ら笹に結びつけられました。会話することが出来なくなってきた昨今、そんなお姿が見られて私もうれしくなり、やりがいを感じました。

イベントは皆様とても楽しみにされており、話がいつもより弾み、日頃見られない姿を見ることが出来ます。こういう時間を大事にしたいです。

ス楽荘

○生産性向上に向けて

介護士 嶋 章政

少子高齢に伴い介護ニーズが増える一方で、生産人口の介護人材確保が難しいことから介護現場の生産性向上が本格的に始動しました。それに伴いス楽荘でも今年度より委員会が設置されました。

からです。この様に、生産性を向上したいが現状の労働環境を維持したい思いもあり、認知的不協和に苛まれ苦慮してきました。

昨今、生成AIやICTの活用が目まぐるしく進化していく中で既存の手法は大きな変革期を迎える事が懸念されます。もう賽は投げられ、時代の流れに沿う事しか出来ないのかと感じます。介護現場においては認知的不協和がより増え、情緒的消耗感を多く抱えるのではないかと感じられます。生産性と労働環境を天秤にかけ、理屈ではなく感情や信念に語り掛ける改善を行なう事が今後の鍵ではないかと感じています。

ベルビューハイツ

○リハビリで笑顔に

理学療法士 榊原 莖太

令和六年度の人事異動にて、実に十数年ぶりに特養作楽荘から老健ベルビューハイツへ異動となりました。

特養と老健ではリハビリの加算方法や記録などに違いがあるため、それらの変化にまだまだ戸惑うことが多い状況です。

特に、記録などに関してはワイズマンやライフといった、ネットワークを介して行うものがあり、それらの操作に四苦八苦しています。

しかし、以前ベルビューハイツに勤めていた頃の入所者様や職員の方の再会し、「久しぶりだね」

と声をかけていただけたこと、また覚えていてもなかったことなど嬉しいことも多くありました。

まだまだ覚え直さなければならぬことや新たに身につけなければならぬことが多くありますが、できるだけ早くベルビューハイツでの業務に慣れ、リハビリテーションを介して入所者様が笑顔となるよう、職員の皆様の助力を得ながら頑張っていこうと思います。



個別歩行訓練

ベルビューハイツデイケア

○歩くが見える

介護士主任 安藤 裕司

一日型のデイケアは、リハビリの時間以外は時間を余す等の話を耳にすることがあります。

しかし、現在は広いフロアをいかして皆さんで一斉に歩く時間を設ける等、色々工夫してなるべく多くの方に楽しく過ごして頂けるようにしています。

トルト

動画を「撮る」だけで伝わる、提案の質が伝わる

CareWiz トルトは、スマホで歩行動画を「撮る」だけで、簡易歩行分析し、理学療法士の知見を基に開発されたAIが現場のアセスメントを支援します。

ベテラン理学療法士の知見を基に開発されたAIが、利用者の歩容や転倒リスクの評価を支援

誰でも簡単にスマホ1つで測定が可能

分かりやすい解析結果で利用者や家族の理解や行動変容が促される

ケアマネジャーが歩行分析を希望 81%

※当サービスは、CareWiz トルトで歩行分析をしてもらいたいと考えています。

操作はスマホで5mの歩行の動画を「撮って」、アップロードするだけ。2分には、AIが解析結果を分かりやすいコミュニケーションシートに載せてくれます。



皆でウォーキング

その中のひとつとして八月より本年度の事業計画である【歩行分析AIのトルト】の導入を開始しました。AIでの解析結果をご利用者様本人やご家族、ケアマネにフィードバックして、今現在の歩きの状態や今後何をしたらもっと歩けるようになるのかを共有して、より満足して頂けるサービスを提供できれば良いなと思っています。

DISC吉かわ

○吉かわの夏まつり

介護士 榊原 千絵子

八月の行事といえば「夏まつり」。職員は今年も涼し気な衣装に着替えて盛り上げます。金魚すくいや水風船釣りはもちろんのこと、たこ焼きピョンゴゲームや着せ替えQPゲームなど、より楽しく、より面白くなるよう準備を進めてきました。同時進行でかき氷やみたらし団子の手配・買い出しも行いました。炭火で焼くみたらし団子の美味しさは格別です。開催一週間前から盆踊りの練習も行いました。

そんなこんなで迎えた夏まつりは八月十三日、十六日の四日間。例年、

この週の職員は楽しさと慌ただしきでへロへロです。それでも、いつもと異なる雰囲気の中、普段は見ることのない利用者の皆さんの表情は、私だけでなくDISC吉かわ全職員に「やる気」を与えてくれます。「楽しかったよ」「氷なんてここでしか食べれない」「だんごも美味しかった」「ありがとう」いろいろな言葉が私たちを癒してくれます。



「炭火焼きのだんごです」

毎年夏になると入所者様がとても楽しみにしている流しそうめんのイベントがやって来ます。昨年までは中庭で行ないましたが、この酷暑で暑さに慣れていない入所者様が熱中症になっては大変と、屋内でビニールシートを敷いて行ないました。じつと自分の前へそうめんが流れて来るのを待って、「今だ」と箸を出したものの逃してしまい再度挑戦。今度はそうめんを箸で器へ入れられず、それが少しずつ流れてしまい、最終的には職員の手伝いを受けてやつとの思いでそうめんを獲

麗楽荘

○恒例の流しそうめん

介護士 出戸 菊栄

得。満面の笑顔を見せて召し上がられました。だんだん流れにも慣れて上手に掬えるようになりました。お腹いっぱい召し上がられたので夕食は少しご飯を減らしお腹をこわさない程度で調整。

今年はそうめんと一緒にミニトマトやキュウリ、缶詰のみかんを流し、とても好評でした。

また来年も流しそうめん行いたいですね。皆様、元気に長生きしてこの日を迎えましょう。



狙いをさだめて！

🌸 **デイサービス麗楽荘**

○口腔衛生士の卵

介護士 峯野 愛香

七月に入り、中部ビューティデザインデンタルカレッジの学生二名の方がデイサービスに実習に来ました。

午前中は、利用者様の皆さんとの交流を深めるために、それぞれの席でお話をされていました。午後からは、レクリエーションの時間を使って、およそ三十分間、実習生の皆さんから、「唾液」に関する話をして頂きました。

若い時は、唾液もニリツトル出るそうですが、年配になると、五百ミリリットルに減ってしまうそうです。そこで、減っ

た唾液を出すのに有効なのが、「口腔体操」です。



わかりやすい講習でした

実習生の真似をして唾液腺のマッサージをした時は、痛痒くて気持ち良かったです。唾液も出て、口腔内も潤いました。



癖になりそうです！

🌸 **和光ハイム**

○ピアゴへ買い物に

事務員 桑山 真理

和光ハイムでは、月に二回（隔週）希望者の皆さんをピアゴへ買い物にお連れしています。買い物にお連れできない週は、買い物代行サービスを行っています。

買い物へ行く顔ぶれは、だいたい同じ顔ぶれで、行く度にエコバックいっぱいには買い物されます。時間も一時間弱の為、時間をかけてのウインドウショッピングは難しいですが、皆さん思い思いに過ごされています。

まず本屋さんへ直行する人、衣類を見る人、百貨へ行く人、最終的には皆さん食料品の買い物

されます。買い物がお済むと順にフードコートの一隅を拝借し、全員揃うのを待ちながらおしゃべりに花を咲かせています。

世の中は、新型コロナウイルスもインフルエンザと同等の五類感染症に移行されましたが、高齢者施設としては制限なしになるのはまだまだ難しいのが現実です。

そんな中でも、皆さんの笑顔が溢れる施設でありたいと思っています。



どれがいいかなあ

GHURA

○地元の特産物を求めて

介護士 伊藤 絢美

「道の駅スタンプラリー 愛知県」には、十八箇所道の駅があり、それぞれの地域の特産物を販売しています。職員も休みの日に道の駅を訪れ、楽しんでいくようです。

そんな職員の休日の楽しみから道の駅へ訪れる企画が生まれ、入居者様にも地元の特産物を見たり、露店で食事をしたりと楽しんでいただけたらと思います。

まずは事業所から近い「もつくる新城」へ行き、店内を散策し、アイスクリーム・五平餅を食べることが満悦でした。

甘いものがとても好きな方がいて、「また食べに行きたい」と言われていました。

大変好評でしたので、気分転換を兼ね他の道の駅「作手・設楽・鳳来」や、この機にパーキングエリア、地域の行事に出かけたいと思います。

余談ですが、「もつくる」のスタンプのデザインは、ブツポウソウという鳥がデザインされていて、とてもかわいいスタンプです。



美味しい！もう1個食べたい

奇楽荘

○コロナ荘内感染

看護師副主任 瀬野尾 紀子

六月十七日、入居者様一名コロナ陽性判明。驚きました。体調が悪い職員もいず、週に一度抗原検査もしていました。陽性の入居者様は面会者もありません。考える間もなく、すぐに感染対策をしました。陽性者の隔離、ガウン、フェイスシールドの使用、職員のユニット固定。感染ユニットで働く職員は玄関・更衣室・事務所は使用せず、トイレ・休憩室も別々にしました。その後十九日、職員一名、二十一日には他のユニットの入居者様一名が感染しました。奇楽荘では令和五年度

はコロナの荘内感染がなく、このまま何事もないと良いのにと感じていました。五類に分類されてからは、世の中では「過去の病氣」「それほど重症化しない」と思われているのかもしれませんが。実際、スーパーの入りにアルコール消毒があっても消毒せずにお店に入っていく、出て行く人も多いです。しかし、高齢者にとっては感染すると、何日も寝たきりになったり、ADLが下がったり、最悪の場合亡くなります。今回の感染は三人だけに収まりましたが、ウイルスはどこから入ってくるのかわかりません。今後も気を引き締め、感染対策をしていこうと思います。



○土用の丑の日

介護士 酒向 美貴

なぜ土用の丑の日に鰻を食べるのかご存じですか？江戸時代にうなぎ屋の主が夏場の売れ行きを上げるため、当時の学者に相談したところ、提案内容が、「丑の日に鰻を食べると良い」というキヤッチフレーズだったそうです。

これは「丑」の字に「う」の文字が含まれることから「う」のつく食べ物を食べる風習と結び付けられ食べる習慣が広まったと言われています（諸説あり）。また、歴史的側面以外にも栄養面や文化面からの背景もあるそうです。

当事業所では7月4日、

昼食に鰻を提供させていただきました。皆さん久しぶりの鰻に、食べる前から喜んでおられ、昼食が開始すると、「鰻のタレとご飯が合っていておいしいね」「こんなにいいモノ食べていいのかね」「また食べたいね」と皆さん笑顔でお話しされていました。皆様も鰻を食べて暑い夏やコロナを笑って乗り越えていきましよう!!



猛暑も乗り切れそう

本部 日誌

令和6年7月

- 10日 第1回キャリアパス研修(於 麗楽荘)
- 17日 第1回キャリアパス研修(於 作楽荘)
- 19日 荘内茶々研修(於 作楽荘)
- 24日 荘内茶々研修(於 B V H)

令和6年8月

- 7日 本部会議(於 斯楽荘)
- 15日 荘内茶々研修(於 麗楽荘)
- 21日 荘内茶々研修(於 作楽荘)
- 21日 第2回キャリアパス研修(於 作楽荘)
- 28日 第3回理事会(於 斯楽荘)
- 28日 荘内茶々研修(於 B V H)(中止)
- 28日 第2回キャリアパス研修(於 麗楽荘)

作楽荘日誌

令和6年7月

- 1日 中部アンタルカレッジ歯科衛生士実習(7月3日、特養)
- 3日 中野地区民生委員定例会(包括 於 中野地区市民館)
- 5日 福岡地区民生委員定例会(包括 於 福岡地区市民館)
- 6日 宝陵高校介護実習中間学習(2名、7日、特養)
- 13日 寿司祭り
- 19日 買物外出
- 21日 誕生日会
- 22日 宝陵高校介護実習(2名、8月2日、特養)(2名、26日、デイ)
- 23日 職種別介護士(福祉士)有馬主任大塚 於 豊橋市役所
- 24日 土用の丑
- 29日 運営推進会議(包括 於 複合型・GH あいち)
- 29日 虐待防止委員会施設内研修

令和6年8月

- 3日 納涼祭
- 5日 中部ビューティデザイナーアンタルカレッジ臨床実習(2名、7日)
- 6日 中部福祉保育医療専門学校介護実習(2名、9日、特養)
- 6日 盆供養(井上賢照住職)
- 7日 中野地区民生委員定例会(包括 於 中野地区市民館)
- 9日 福岡地区民生委員定例会(包括 於 福岡地区市民館)
- 12日 給食会議
- 13日 迎え火
- 15日 送り火
- 16日 寿司祭り
- 18日 誕生日会
- 19日 包括業務打合せ(リモート会議)
- 22日 身体拘束廃止委員会施設内研修
- 26日 広域ケア会議(包括 於 大清水センター)
- 27日 南陽中学校福祉体験学習(アイ)
- 27日 職種別会議(主任ケアマネ)(渡邊副主任 於 大清水センター)
- 30日 職種別会議(保健師職)鈴木 於 大清水センター
- 30日 職種別会議(福祉士)有馬主任大塚 於 豊橋市役所
- 29日 連絡会議
- 29日 事故防止委員会施設内研修

美光ハイム日誌

令和6年7月

- 4日 美光教室
- 5日 七夕会
- 7日 カラオケクラブ(9日、23日)
- 14日 みんなで歌う会(28日)
- 16日 音楽鑑賞会(全野緑)
- 20日 豊橋祇園花火鑑賞会
- 21日 家族会
- 24日 定例会
- 29日 健康チェック
- 29日 パステル画

隨時 園芸クラブ

令和 6 年 8 月

3 日 納涼祭

4 日 カラオケクラブ(13日・18日・27日)

12 日 冷やしそうめん会

26 日 パステル画

T S K 健康診断

29 日 定例会

健康チェック

隨時 園芸クラブ

倶楽荘日誌

令和 6 年 7 月

3 日 移動スーパ一買物(毎週水曜日)

15 日 誕生日会

19 日 イベントランチ

24 日 訪問美容(きれいや)

25 日 リーダー会議

26 日 倶楽荘連絡会議

令和 6 年 8 月

3 日 外出行事(作業社納涼盆踊り会参加)

7 日 移動スーパ一買物(毎週水曜日)

14 日 イベントランチ

21 日 誕生日会

22 日 イベントランチ

29 日 リーダー会議

倶楽荘連絡会議

訪問美容(きれいや)

G H K 日誌

令和 6 年 7 月

3 日 移動スーパ一買物(毎週水曜日)

7 日 七夕会

18 日 お菓子作り

23 日 誕生日会

24 日 訪問美容(きれいや)

26 日 倶楽荘連絡会議

令和 6 年 8 月

3 日 外出行事(作業社納涼盆踊り)

7 日 移動スーパ一買物(毎週水曜日)

17 日 誕生日会

20 日 おやつ作り

29 日 倶楽荘連絡会議

訪問美容(きれいや)

斯楽荘日誌

令和 6 年 7 月

6 日 ユニットリーダー会議(1回目)

12 日 斯楽荘連絡会議

運営推進会議

18 日 訪問美容(きれいや)

20 日 A ユニットミーティング

23 日 ユニットリーダー会議(2回目)

25 日 作業社連絡会議

26 日 B ユニット誕生日会

令和 6 年 8 月

3 日 外出行事(玉川盆踊り参加)

5 日 斯楽荘連絡会議

8 日 流しそうめん会

10 日 ユニットリーダー会議

19 日 B ユニットミーティング

23 日 防災訓練

29 日 作業社連絡会議

ベルビューハイッド日誌

令和 6 年 7 月

4 日 七夕会(2階)

5 日 七夕会(3階)

8 日 運営推進会議(真寿苑)

9 日 職種別会議(主任ケアマネ)堀内主任

数井リモート会議

12 日 茶話会(ライフポート・豊橋)

22 日 湯谷温泉フェスタ(27日)

23 日 職種別会議(社会福祉士)菅沼副主任

於 豊橋市役所

25 日 連絡会議

28 日 誕生日会(2階・3階)

令和 6 年 8 月

6 日 職種別会議(主任ケアマネ)堀内主任

数井リモート会議

7 日 高校生ボランティア(1名、豊橋西高

校、7日)

8 日 盆供養(井上賢照住職)

茶話会リモート会議

19 日 業務打ち合わせ会(オンライン)

22 日 連絡会議

24 日 納涼祭

25 日 誕生日会(2階・3階)

26 日 湯谷温泉フェスタ(31日)

27 日 職種別会議(社会福祉士)菅沼副主任

於 豊橋市役所

28 日 おしゃべりクラブ(三ツ相町)

29 日 連絡会議

D S C 吉かわ日誌

令和 6 年 7 月

8 日 芸能慰问(金田ひよこ様)

13 日 傾聴慰问(原田様)

17 日 茶々研修(於 作業社)

18 日 防災委員会

19 日 流し素麺

23 日 感染対策委員会

24 日 茶々研修(於 B V H)

25 日 B C P 委員会

26 日 習字教室(佐藤征子講師)

虐待防止委員会

27 日 ミーティング

研修(D S)における虐待事例(虐待防

止委員会)

令和 6 年 8 月

9 日 芸能慰问(金田ひよこ様)

季節の花週間(7・17日)

13 日 夏祭り

17 日 芸能慰问(昭和歌謡語り(岡本様)

傾聴慰问(原田様)

19 日 虐待防止委員会

20 日 防災委員会

感染対策委員会

B C P 委員会

21 日 茶々研修(於 作業社)

24 日 ミーティング

研修(自然災害に係る B C P と B C M

B C P 委員会)

28 日 茶々研修(於 B V H)

30 日 習字教室(佐藤征子講師)

麗楽荘日誌

令和 6 年 7 月

1 日 中部ビューティデザイナーデンタルカ

レッツ臨床実習(2名、3日)

2 日 移動販売(シャローム)

7 日 七夕会

8 日 中部ビューティデザイナーデンタルカ

レッツ臨床実習(2名、10日)

七夕会食

9 日 給食会議

移動販売(もつくる新城)(23日)

愛知県老人福祉施設協議会第2回施

設長会議(鈴木社長 於 愛知県産業労

働センター)

10 日 書道クラブ(加藤美代子講師)

12 日 寿司祭り

16 日 ボラはぐるまの会

17 日 防災訓練(起震車体験)

18 日 生け花クラブ(加藤温晴講師)

誕生日献立

介護認定審査会(海野副主任 於 新城

市役所)

19 日 連絡会議(入所判定会議)

22 日 宝陵高校介護実習(4名、8月2日)

24 日 土用の丑会食

感染症委員会社内研修「褥瘡について」

B C P 委員会社内研修「感染症が社内

で発生したら」

令和 6 年 8 月



- 5日 中部ビューティデザインデンタルカレッジ 臨床実習(2名、7日)
- 6日 移動販売(シャローム)
- 7日 書道クラブ(加藤美代子講師)
- 10日 盆供養(井上賢照住職)
- 12日 中部福祉保育医療専門学校実習(1名、23日)(1名、8月23日、26日、9月13日、2名)
- 13日 迎え火
- 15日 迎え火
- 16日 給食会議
- 16日 新城市花火鑑賞会
- 15日 生け花クラブ(加藤温暉講師)
- 16日 送火
- 21日 連絡会議・入所判定会議
- 21日 誕生日献立
- 27日 移動販売(もっくる新城)

和光ハイム日誌

令和6年7月

- 1日 和の会
- 4日 体操教室(今泉勝代講師)
- 5日 流しそうめん
- 七夕会

職員募集中

◎ 介護士・看護師
◎ 運転手・清掃員
◎ 勤務地 豊橋・新城
◎ 正職員・パート

職場見学・体験受付中

本部総務 担当 青山
☎(0532)48-5115

GHIYU日誌

令和6年7月

- 7日 七夕会 流しそうめん
- 10日 誕生日会
- 13日 花火大会
- 15日 ドライブ
- 令和6年8月
- 5日 夏のドライブ
- 10日 盆供養(井上賢照住職)
- 13日 新城市花火大会
- 15日 迎え火
- 15日 送火

奇楽荘日誌

令和6年7月

- 5日 七夕会
- 6日 J笑門訪問販売(毎週土曜日)
- 18日 誕生日会
- 令和6年8月
- 3日 J笑門訪問販売(毎週土曜日)
- 13日 迎え火
- 15日 送火
- 22日 誕生日会・五平餅会

GHIYU日誌

令和6年7月

- 2日 訪問診療(宇利)
- 4日 訪問診療(吉祥)
- 7日 七夕会 流しそうめん
- 20日 雲母祭(9月28日に延期)
- 22日 誕生日会
- 26日 ユニット会議(宇利)
- 30日 ユニット会議(吉祥)
- 令和6年8月
- 3日 八名祭り
- 6日 訪問診療(宇利)
- 8日 訪問診療(吉祥)
- 13日 吉祥寿司祭り外食
- 15日 迎え火
- 19日 送火
- 19日 RUN伴作品搬入
- 宇利寿司祭り外食
- ボランテア(はぐるまの会)
- 24日 ハンドベル演奏慰問

作楽荘グループ・BVHグループ・麗楽荘グループ



グループ・麗楽荘グループ・作楽荘グループ・BVHグループ

施設概要・ブログ等を公開

編集後記

太鼓の演奏やキッチンカーを目当てに、車椅子のお年寄り二人と医王寺へ出かけた時のこと。

緩い下り坂を降りる際、加速しないように車椅子のハンドルを持ち加減しながら坂を下っていると、私の後方から「押していきますね」「どこまで行きますか」と若い女性二人がごく自然に車椅子の操作を代わってくれました。

彼女らは太鼓演奏で参加していた桜丘高校の生徒さんで、太鼓演奏のため会場へ行く途中でした。お年寄りを平らな駐車場まで押してくれた二人にお礼を言うと、またまたごく自然に「はい」と言って太鼓の集団へ混ざっていきました。

ごく普通の風景が金色に変わりました。

(Y・A)



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



環境にやさしい植物油インキを使用しています。